

は し が き

新潟県立教育センター研究双書28として、「道徳教育ハンドブック・小・中学校編・改訂版」を刊行いたします。この研究双書は、学習指導要領の改訂に伴い、初版をベースとして内容の充実に努めたものです。

このたびの学習指導要領改訂では、「学校の教育活動全体を通じて学校における道徳教育を行う」という、これまでの基本的な方針については変更はありません。

そして、小・中学校とも今までの内容に、「豊かな体験を通して内面に根ざした道徳性の育成が図られるよう配慮しなければならない」ということが加えられ、また、中学校では新たに「人間としての生き方についての自覚を深めること」が付け加えられました。

これは全教育活動を通して、豊かな体験に基づく内面に根ざした道徳性の育成と人間としての生き方についての自覚を深める指導が、道徳教育の充実に不可欠であるからです。

よりよい自己形成と望ましい人間関係の育成を図っていくためには、大自然と触れ合う自然体験の他、さまざまな人と人との触れ合いや関わりの中での体験を更に学校教育全体を通じて深めさせることが強く望まれています。

このようなねらいを実現するためには、各学校で児童生徒の実態を踏まえ、創意を生かしながら、豊かな体験を通しての道徳性を育てていく必要があります。また、その具現化を目指す研究や研修を一層推進していくことが、これから重要となってまいります。

そのために、本双書は、まだまだ十分意を尽くし得ない点もありますが、可能な限り今回の改訂点に迫るように配慮しました。各学校や先生方に広く活用され、児童生徒の道徳性の涵養につながる身近な資料として、道徳教育の指導に少しでもお役に立てば幸いです。

平成5年6月

新潟県立教育センター所長 大 澤 正